



介護体験を

聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

「独居生活で高次脳機能障害、さらには床上浸水の困難生活事例」

通所施設、ケアマネージャー、息子さん、家主などが協力して乗り切る。

第151回介護体験を聴く会
開催日：平成26年7月26日(土)

「議題」

*Sさんの事例検討(独居生活の病気療養に問題が発生)

*デイケア・デイサービス家族相談会

*グループホーム運営推進会議

*広島・長崎原爆投下謝罪要求署名について

「当日の参加者」

職員：医院長 ケアマネ
金子 高橋 漆原 古

谷 厚川 飯田 山崎
柏倉、梅本

会報第150号

平成26年8月30日発行

発行所：(有)明寿会

住所：川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

(今年12月は20日)

*既往歴

高次脳機能障害・くも膜下出血・左肩関節拘縮・左膝外側半月板損傷

*平成26年4月脳梗塞精査治療目的にて入院

*内服薬

シロスタゾール錠100mg

血が固まるのを防ぐ

バファリン配合錠

血の流れを良くする

ノルバスタ

血圧を下げる

アムロジピン

尿の生成を抑える

サロベール錠

胃炎の症状改善、胃酸の分泌を抑える

アトルバスタチン錠

コレステロールを下げる

*生い立ち

昭和9年3月24日福井

スイカ割り風景



子(次男)さんの家に住まわれています。

県本宮市に生まれる。中学校卒業後、左官屋として働く。結婚後、長男・次男・長女が誕生する。平成23年に妻が他界。平成26年2月柳田デイサービス利用開始。

*自宅での様子
家ではテレビを見たり、新聞を読んだりゴロゴロしている。外へは買物や近所の商店街を散歩したりとよく出かける。病院へ行く事も多く、以前は毎日行かれていたが最近あまり行かれていない。偶に息子さん様子を見に来られています。現在は大雨で床上浸水してしまい、掃除・片付け・リフォームを行う為、息

*デイサービスでの様子
利用当初から、見学時に顔馴染みとなった利用者さんと会話をされ、他の利用者さんにも自ら話しかけ談笑される等、直ぐに馴染まれていました。朝の迎えでは、支度が出来ている状態で部屋の中で待たれています。偶に外に出て待たれている事もあります。最近、寝坊したり利用日じやないと思っていたと話される事もあります。200回体操では、他の利用者さんを気遣ったり疲れを見せず笑顔で参加されています。朝の漢字ドリルは丁寧な字で書かれ、イージーウォークも自ら行っています。会話については、自ら話し始める事は少なく、他の利用者さんの話しにはよく笑いながら反応されています。また、隣に座る利用者さんが下を向いたり眠そうにしていると、話し掛けたりの様子です。運動系の創作プログラムには、積極的に参加されています。

物作り系の創作プログラムでは、作る工程を理解するのに時間がかかりますが、分かりはじめると他の利用者さんにも自ら教えたりもします。歌も好きな様で、「民謡を聴こう」や「三味線を聴こう」には毎回参加されます。また、お花見ドライブでは、他の利用者さんの手を取りながら一緒に見学される様子も見られました。入浴では、洗身・洗髪は自身で行えますが、至らない所は介助・声掛けを行っています。着替えた際の下着に便付着が多く、デイサービスにて洗濯しているので数枚お預かりしています。

＊今後の対応
最近外出の機会が減って



風船でサッカー

いる事から、身体機能の低下が心配されます。デイサービス利用中の体操等に積極的に参加して頂ける様声掛けを行い、少しでも外出する機会や同年代の方達との交流を増やし、楽しく過ごす事が出来る様支援して行きます。また、独居の生活動作の維持、お手伝いが出る様引き続き支援して行きたいと思えます。

デイケア・デイサービスの家族相談

＊飯田ケアマネ…(S氏事例検討から引き続き)

S氏はふらつきはあるが、買物に行く事や自分で洗濯をする事に全く問題なし。排便後のお尻拭きに難あり。菓の飲み忘れ、飲み残しがある。DSを利用する様になり、臨港病院に行く回数が増えた。それまでは必要以上に行っていた様である。

＊Kさん (小宮さん娘さん)
今は、父の服薬時が心配。「あれ、薬が足りない」とか言い出す時がある。

＊Nさん (野々目さん)
姉の薬の管理も全て私が

やっている。感謝された事も無いけど。
＊飯田ケアマネ
今は薬を一包化してもらい、本人と私で管理している。
＊院長
独居に対しては、行政(福祉)がもっと力を入れるべきだ。息子さん達とは、一緒に住めないのかしら？

＊Iさん (石田さん)
経験から言っても、仕事と介護の両立はやはり難しい。

＊Yさん (柳沢さん)
独居の状態を全く考えられない。

＊院長
日本の福祉レベルは世界でも最下位クラス。もっと問題提示するべき。大臣達は、いろいろな施設に来てもっと現状を知るべきだ。

＊金子
独居が維持出来る様、これからもサポートして行きたいです。

＊院長
自分自身のリハビリの為、社会に知って貰う為、少しの時間でもいいです。さらもっと積極的に外に出ましよう。

グループホーム推進運営会議

＊グループホームからの報告

入居者について
6月23日・26日とお二人の新しい入居者が入居されました。お二人共柳田DSを利用されていた方達です。その様な中で、7月5日午後3時過ぎに新しく入居されたお一人が、中階段を使用して3階から1階に降りて玄関に向かう鉄扉を半分開けているところにDS職員が遭遇。GH職員の夜勤担当者がタイムカードを押していた為、遭遇したDS職員は入居者の一人行動と気づき、直ぐ夜勤担当者に報告して無事に3階へ戻る事が出来たという不注意がありました。職員一同、今後の対応・対策を急務として、安心して過ごして頂ける様にして行きたいと思えます。

地域交流について

8月15日に多摩川の花火大会が開催予定です。ホームの屋上にてご家族をお誘いして、ご家族同

士が交流を持てる良い機会にしたいと思えます。

入居者のご家族から

＊小宮さん
入居してから、母の表情が明るくなった。不穏な状態が一切無くなった。

＊石田さん
最近少し元気が無くなった気がする。夏バテもあるだろうが、内臓を患っているから更に進んだかもしれない。

＊柳沢さん
昨年の入院で重いすとなつたが、元気でやってくれている様だ。

広島・長崎原爆投下謝罪要求署名

原爆投下者の謝罪、核使用の禁止、アメリカ軍の基地撤去を求める署名をお願致します。

柳田デイケア 梅本

広島、長崎研修旅行に参加して

今年は8月5日～9日の3泊5日(車中泊2日)でジネス3泊)で広島と長崎に行つて参りました。広島に10時に到着後、広島市まちづくり市民交

流プラザで開催されている第13回広島「原爆と戦争展」に行きました。広い会場には今年も参加者がいっぱい、広島・長崎・下関の原爆被害者の会の方々が各テーブルで参加者にお話をされていました。昨年自分で書いた絵を用いてお話をされていたご婦人や爆心地がすぐそばの郵便局で働いていて被爆された80代の男性もお元気そうな様子で話されておりました。

今回は新たに市民の方からの資料提供コーナーがあり、大切に保管されていた戦時中の地図や絵画や手記が展示されました。その中に59年出版の大衆雑誌「日の出」の付録として帝国陸軍参



署名簿カンパ提出

謀本部が刊行した「満州事変大画譜」紙芝居形式で16枚描かれている物があり「東洋平和の為に皇軍が行くところ、戦いはすべて平和建設のために義戦であり聖戦であった」と解説がありました。まさに今も世界各地で紛争が起きており、日本も集団的自衛権の行使容認の閣議決定など戦争参加の危険性を感じずにはおられません。政府や一部マスコミの一方的な報道のみを鵜呑みにせず国民一人一人が考えて行かなければならないと思います。集会では小中校生平和の旅に参加の100名のごども達が今年も元気に旅で学んだ事を発表した。り、広島の大學生が学内での「原爆と戦争展」をきっかけに街頭展示に係わって「この原爆と戦争展を通じて広島への思いを受け継ぎ、行動をしよう」と感じている人々の橋渡しとなり、この運動が少しでも広がって行く力になればと思う」との発表がありました。若い世代の参加が多くなり、集会後のデモ行進でも沿道の

小学校校庭で茶毘にした



若い人が一緒にシュプレヒコールをする姿や手を振って応援する人の姿が多くなっているなど感じました。

初めて行った長崎では、平和公園の中にある平和資料館に行ってきました。資料館の内容は広島とかなり違いましたが、行く先々でボランティアの方が大勢おられ、史跡や展示物の案内をして下さりました。自分は被爆2世ですが、被爆者の方が恒例で亡くなっていく人が多くなり、自分たちが継承をして後世の人に伝えて

いく役割をして行くとの思いでなさっているとの事でした。来年が戦後70年、ますます戦争の真実をどこの地域でも受け継いで行かねばいけないなと考える市民が多くなっているのを感じました。今年の研修旅行でした。

デイサービス 柳田

「よろしくお願いします、厚川守重です」

生まれも育ちも、川崎です。一時的に、麻生区にて生活をしていました。が、ほとんどが川崎区にての生活です。

昭和24年の生まれ、子供の頃は「よく祖母の肩・背中をマッサージしていました」と言うのが普通でしようが、事実は反対で、祖母に肩・腰などを揉んでもらっていました。別に祖母がマッサージ師であるというわけではないのですが。

小・中・高と川崎の学校に進み、関東学院大学工学部工業化学科を卒業、その後プラスチックの関連の企業に入社、主に品質管理、技術研究関係ですが、一時営業、また、

海外に2回(タイ・中国)に合計約2年半出向しています。通っていた事業所が、閉鎖されるに伴い退職、その後ヘルパー2級の資格を取り、さらに全体の学校に通い、整体師となり、整骨院にて勤務を10年あまり、実際の施術をしていました。その整骨院も閉鎖ということとなり、今回、明寿会、柳田デイサービスに勤務することとなりました。

デイサービスにおける勤務実績のない私ではありますが、現実が現在要介護4という状況にあり、あらためてこの介護という仕事に取り組みたいと考えております。

目指せ！皆でフオークダンス

七月より「足だけダンス」というプログラムを始めました。四色に分かれた大きな紙を足元に敷き、リーダーになる人が色を言って、それに合わせて他の人は足を左右交互に色を踏んでいきます。何度も繰り返しリズムに乗ってきたら次は音楽に合わせて

せて足を動かしていきま
す。目で色を確認する視
覚、音楽を聴きながらの
聴覚、そして下肢筋力の
強化、脳の活性化を考え
た創作で、まるでダンス
をしているかのように楽
しんでいるはずですが、
そこは手強いデザイナーピ
スの利用者さん達、なか
なかに思っていたように
動いていただけません。
片方の足だけを動かして
いる人、紙の上でクルク
ルと回ってしまう人、色
がわからず固まっている
人、足を動かすと疲れる
と言いつ紙をテーブルの上
に置き足の代わりに手で
色を抑える「手だけダン
ス」をする人等々、発案
者としてはかなり落ち込
んでしまいました。する
と、休憩時に一人の男性
の利用者さんが「子供の
ころ運動会でフォークダ
ンスを踊ったなあ、女子
と堂々と手をつなげるか
ら嬉しかったもんだよ。」
と、女性の利用者さんも
「お勤めしていた頃ダン
スホールに行つて男性が
誘いに来てくれるのをド
キドキしながら待ってい
たよ。」と顔を赤くして

話してくれました。「もっ
ともっと上手にできるよ
うになつたら皆でフォ
ークダンスをしようよ」と
いう声も上がり、私も少
し立ち直ることができま
した。ともあれまだまだ
始めたばかり、改良を重
ねながら大きな大きな目
標「皆でフォークダンス」
に向かつて頑張つて続け
ていきたいと考えていま
す。

デザイナーピス

森島

夏の音色 風鈴市見学

七月の三日間に亘り好
例の風鈴市見学に行つて
参りました。風鈴市に行
く為に外出し、町の風景
街並み、川崎の歴史を見
る事によって、普段の味
わう事の出来ない喜び、
感動をして頂き、各都道
府県風鈴が展示されて
いる為ご自分の故郷をあ
わせて思い出して頂きま
した。

う効果がありました。今年
度は、川崎大師十年に
一度の大開帳奉修記念の
風鈴市といった事で、お
寺さんも相当力を入れて
いたようです。全国から
集められた九百種、三万
個の風鈴が涼しげな音色
を奏でていました。金や
プラチナの風鈴も特別に
展示されていました。期
間中三十万人の来場が見
込まれていたそうです。
暑い最中ですので、すだ
れの張られた屋根より霧
状の水を出す等、熱中症
対策も行われ、主催者側
の思いやりが昨年より見
られました。利用者の皆
さんも、金やプラチナの
風鈴の前で足を止め、係
りの人が鳴らしてくれた
音色に耳を傾けていまし
た。又、崎大師境内に於
いて各種の催しが行われ
ており、猿回しの演技に
目を止め

得ませんでした。会場内
は人混みで混雑している
中、川崎大師の配慮で風
鈴市会場近くの駐車場に
駐車させて頂きました。
デザイナーに戻つてからも
皆さん笑顔一杯で、中に
は家族と再び行き、好き
な風鈴を買い求められた
方もいたそうです。他の
方も来年も又来たいと話
されていました。

文責

瀧口

盆踊り お祭り

8月2日 伊勢町の盆踊
りに行きました。前日か
ら皆さんにお盆のお話
をする、必ず盆踊りの
話が出ました。昔はゆか
たを着て出かけ、櫓の上
で太鼓や笛を吹いて、周
りを踊つたと言われ、自
然と手拍子が出て、座つ
たまま振りが出ました。
出かける前に、踊れな
いからと躊躇される方も
いらしたが、公園に近づ
き太鼓の音が聞こえてく

ると、皆さんから自然と
笑顔が出てきました。
櫓を見ると手を叩いて喜
ばれ、子供たちの太鼓が
始まると自然と手拍子を
され「かわいい、かわい
いと」と、楽しまれまし
た。踊りが始まると輪の
中に入り踊る人や、通常
動きの悪い方も自ら参加
され、一周ほど交わり楽
しまれました。

8月3日 お祭りで御
輿を見ました。皆さんの
中には、向かえる前に
御捻りの事を聞かれる方
もいました。

太鼓や笛の音や御輿の掛
け声が近づく、拍手をし
て喜ばれました。お祓
いをしてもらう時も自然
と頭を下げてました。

活きのいい掛け声を聞く
と、自然と興奮され楽し
まれていました。「お
祭りと言えばやっぱり御
輿だ、良かった」と
大変喜ばれて、満足され
ました。

グループホーム旭町
太田